

第13回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和2年3月18日（水）8:30～

場所：401会議室

【協議事項】

1. イベント中止・公共施設閉館の見通しについて

事務局（地域安全課）：再開に向けた方針資料を説明。

副市長：地域安全課に指示した再開に向けた方針資料により協議を進めるので意見を。

経営部長：クラスター条件3つを基準に考えていくのはいいと思うが、これをだれが判断するかが問題。また、閉館を継続施設も、施設単位ではなく、部屋閉館のケースもあるため、区分けできるのか。イベントの内容でクラスターの危険性があるか見極めるということだが、誰が判断するのか、現実的には難しいのではないか。個人的には、屋外施設は開館してしまったほうがいいのではと思う。犬山城も、広場だけ開放なり、考えていくべきでは。正直、子どもたちもずっと閉じ込められており、行き場の提供も大事。

副市長：判断は迷うが、屋外は先に開けてもいいとは考えていた。ただ、運動施設に付属する更衣室は、密閉状態で濃厚接触する場所として危険ではないか。

クラスターの3つの条件を施設ごとの判断は難しく、現実的には、利用者へ「遵守してもらえば利用可能」な条件提示や、利用者記名など、施設利用者の協力が必要となる。

また、フィットネスクラブや収容力の大きい場所については、開館の見送りや縮小開館も考えていく。細かくルール付けすれば利用可能な施設はあるが、リスクがある施設は基本的に開館しないという方向で考えたい。

再開後は、統一的な対応も必要。利用者の記名は、感染者が出た場合に向け実施が望ましいと思う。

企画広報課長：国の方針に沿っていくことも必要。独自判断によって再開後すぐに再閉館となれば、市民が混乱する。

防災監：今の段階では、当然、国の動向や方針の中で判断していくことになる。

副市長：4月から開館となると、予約や利用者の捌き方を考えておく必要がある。

都市整備部長：他市町の動きを把握し、近隣市町で連携をとって足並みを揃えていく必要があるので事務局で隨時確認を。

副市長：閉館の継続施設について、現段階で観光施設が検討されていないが、例えば犬山城は登城を規制しながら城前広場（天守前広場）は入れるようにするなど、入場制限対応の検討も必要。

経済環境部長：学校開放によるグラウンドの使用については、各団体判断でよいのか周知が必要。公園等は閉鎖していないので、差別化しているのかどうか。

副市長：教育委員会での判断となるが、難しいところもある。

国の専門家会議が明日開かれ、それを踏まえて県がいつ情報を出すかにもよる。

今日の協議を踏まえて、明日の対策会議で決定していきたいと思う。

4月1日から開館も踏まえ、既に予約が入っているものについての対応は、各所管でしっかりと考えておくこと。

【その他、感染対策の共有事項】

・業務縮小に係る対象業務について

事務局：各課における業務縮小一覧の説明

副市長：業務縮小についてだが、人数が減ったときに実際必要な業務を記載しているので、再度確認しておくこと。人的な面はどうなるのか。

総務課長：職員が感染した際は、業務を一時中断して消毒してから再開。その間は別の場所で仕事をする必要がある。203会議室が住基系端末の使用可能となっている。

・その他

企画広報課長：現在のホームページに掲載している情報をとりまとめ、紙面一覧にし、町内会の広報板に張ってもらうよう依頼している。

子ども・子育て監：園児の感染が判明した際にどのような対応をするかを事前に定めた書類を資料として配布。（未来園、児童クラブ共通）

教育部長：小学校の卒業式は明日だが、規模を縮小して実施予定。自主登校については、徐々に人数が減ってきてている。今後、19日の国の方針を待ち、23日に臨時校長会を予定している。